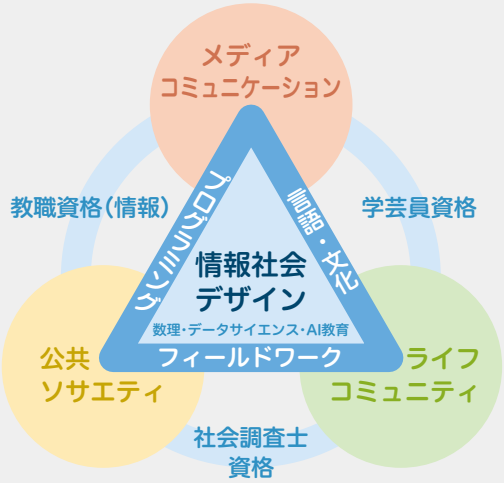
DEPARTMENT OF SOCIO-INFORMATION STUDIES

情報社会学科

教育理念

社会の情報化とネットワーク化が進み、インターネットを通じた新しいメディアやサービスが登場するなど、私たちの生活はとても便利で快適なものとなりました。その一方で、プライバシー侵害や著作権の問題、人間関係への影響の問題など、新しい問題も次々に生じています。情報社会学科では、情報技術や情報システムの可能性や危険性などを理解したうえで、現在の情報社会をもう一度見直し、情報通信技術の発展に対応した新しい情報社会を「デザイン」できる人材を育成します。

多彩な学問分野からの情報社会研究



新しい情報社会を「デザイン」するためには、社会に関する様々な学問分野が必要になります。情報社会学科には多彩な教員が揃っており、それぞれの分野から「情報」について研究しています。その専門は、法学、経済学、社会学、地理学、政治学から、メディア学、文化人類学、歴史学、文学、言語学、さらには哲学、倫理学といった分野にまで広がっています。きっと、自分の興味・関心に合った学び方ができるでしょう。

研究室では、少人数制ならではのきめ細やかな指導を受けることができます。情報社会研究に必要な思考力や技術力、調査・分析能力を高めたうえで、各自が設定した研究テーマを徹底的に追究し、その成果を卒業研究としてまとめます。情報社会研究を通じて培った力は、必ずや皆さんが将来を切り拓く助けになることでしょう。

カリキュラムの特徴

情報社会学科では、人文社会科学の様々な分野から「情報」について学べます。具体的には「メディア／コミュニケーション」「ソサエティ／公共」「ライフ／コミュニティ」という３つの系が用意されており、自身の関心に応じて様々な系を幅広く学んだり、特定の系を集中的に学んだりできます。

また、情報社会学科では、学科専門のデータサイエンスに関するカリキュラムも用意されており、情報社会の分析に必要な数理系のスキルも無理なく学ぶことができます。さらに、他学科との共通科目などを通じて、情報技術に関する知識も得られます。

興味・関心や将来目指す進路に応じて学び方も「デザイン」できる点が特徴です。

※上記カリキュラムは、2024 年度の入学者から適用予定のものです。

研究室情報の入手先 情報社会学科の研究室の詳細は、以下のWEBページをご覧ください

情報社会学科 教員／研究室紹介ページ https://www.inf.shizuoka.ac.jp/labs/society.html